



# 純血種を守る



世界にはたくさんの犬の種類が存在し、その種類ごとに特性や気質が違います。日本では、純血種と他の純血種 2 種を繁殖させた混血種が人気となっていますが、混血種は両親の欠点と欠点を引き継いで産まれてくるリスクもあります。

取材協力、情報・写真提供：  
Canine Association of Western Australia

Australian National Kennel Council Ltd (ANKC) の西豪州の支部的役割を果たしている Canine Association of Western Australia にお話を聞きました。

Q

**Canine Association of Western Australia (Dogs West) の活動内容をお聞かせ下さい。**

A

まず、西豪州における純血種犬の登録機関となっています。そして、繁殖のための倫理規定を定め、当協会が開催している各種アクティビティを通して飼い主や犬への教育・指導を行っています。また、イベントなども開催して、参加者となる飼い主と犬との関係強化を図っています。

Q

**どのように純血種を守っているのですか？**

A

当協会より認可されたブリーダーへ、12 ヶ月以上といった繁殖前の犬の年齢制限、18 ヶ月で出産は 2 回まで、8 週齢規制といった新しい家族の元へ出される子犬の年齢、新しい家族へ提供されるべき子犬の情報提供、といった規定に従うよう働きかけています。また、一部の品種では健康診断が必須で、他の品種でも推奨されています。これらは、ブリーダーの専門家が集う会議でも実施されることが強く謳われていますので、それらも問い掛けながら純血種を守ろうと動いています。



© Canine Association of Western Australia

ダンスドッグのコンテストで音楽に合わせて踊る犬と出場者。



**Canine Association of Western Australia (Dogs West)**

Chief Executive Officer

Ann Rushby

**アン ラッシュビー** さん

長年にわたり西オーストラリア州の犬やオーナー達へより良い関係を教育・指導することに尽力し、自身もブリーダーとして純血種を繁殖させてきた。

Q

**オーストラリアでの純血種は何種類が登録され、西豪州では何匹ぐらいの純血種が登録されているんですか？**

A

オーストラリアでは、約 180 種の純血種が登録され、西豪州では 2014 年に 5,478 匹、2015 年に 5,381 匹、2016 年には 6,073 匹と横ばいの年もありますが、年々増加傾向にあります。ただ、この数字はあくまでも当協会が把握している数字なので、間違いなくその数字以上だと思います。